

ブラックMの環境問題「チームゴーズ」

ブラックM

新年あけましておめでと。う御座います。本年も宜しく願います。

さて、今回はチーム「ゴーズ」の『豪快な声外、笑い楽しみながら30秒で世界を変えちゃう新聞』を御紹介致します。

「自然と共に生きていくネイティブアメリカンは何がを決めるとき、七代先の事を考えて決めるといいます。自分達が生きる今だけではなく、ずっと先の未来の子供達の事を考えて行動するのです。私達が未来の子供達の事を考え、地球温暖化を止める為に出来ることは沢山あります。それも、ガマン、忍耐は必要なし。楽しみながら今やぐにできる30の方法を紹介致します。」
例えば次のような方法です。

- 買い物の時は「このままでいいです」とレジ袋を断り風の様に立ち去ろう。
 - お尻を拭くとき、トイレットペーパーはすっぴり短く使おう。
 - 買い物をする時、奥にある賞味期限の新しい物を買わず、手前から買おう。
 - お風呂は愛する人と電気を消して、30分ほどの灯りで一緒に入ろう。
 - 冬は厚着をして暖房の温度を下げ、夏は扇風機で「ミニはサウナだ」と言い聞かせよう。
- などなど…。思わぬ笑ってしまつたのを伝えますが、誰でも身近に楽しく取り組めることを第一に提唱しているのです。『お風呂は半浴30分を定めてみよう。』と「これから世界が変わって行くよ。」
- さて、あなたは未来の子供達のためにどこから楽しみながら変えてみますか???

伊香保文学お散歩ラリーー 万葉の歌碑の巻

1/3ウ

「ヨウ」おカーセン、何これ？お墓ま??」
リヨウが庭にしている神社の境内でカメラに収められた写真には、こんな歌が刻まれていた。

「伊香保の」

ハズ(ヤナガ)の榎塞(い)に

立つ紅の 躰(あ)らわ(ろ)まで

ナ種をナ種ては

歌意…伊香保の山すそにあるハズもある大きな水門からほとばしる水しびきに朝日が当たって虹がはつきり見えるようになると、一緒に寝ていられたらどんなによいだろう。せむき草(さ)したいものだ。

これは、なんと「万葉集」に詠まれた「伊香保」の歌。「万葉集」巻14東歌の230余首中、上野国(いまの群馬県)の歌が25首。そのうち「伊香保」を詠んだ歌が9首あるのです。

伊香保では、1982年にその9首全てを歌碑に刻み、町中の主な観光スポットの各所に建立しました。

歌碑の場所は以下の通り。

- ① 観山荘西側
- ② 水沢寺境内
- ③ 伊香保神社境内
- ④ 森林公園管理棟前
- ⑤ 湯元飲泉所横
- ⑥ 長峰公園池の前
- ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺
- ⑳ 文学の小道中程
- ㉑ 峠三差路

電話をメールも無かった時代の恋歌は、いずれから超ラップ歌ばかり。歌碑の近くに解説プレートがあって、歌意を同時通訳。赤面しながら読んでみてね。ちなみにリヨウママの気が入りは見晴駅東(㉑)です。

【ニヨウ】

伊香保階段街に暮らすお今や数少ない子供代表。10歳。かしの目につつまる伊香保の「なめ??」「や」はてな??「せよ」紹介!